共

フ

オ

Д.

1

Ш

秋

住

ばは姫いこい在て私かし田山路たこた高いはがた 、市だでだ槻た以お今の でき少い北だ前過日出 す園私ましてのい水ご <sup>°</sup>風がす私お地て無しの 。のり域お瀬で頃多 がん地紹まをり店す 広で元介す担まをか皆な 。当し担? さっ がいはを 7 さた当 ま はき せがさ 言周庫せ て現せ わ辺県て いま

ておすはが私 いしりた現 °は経もさなて目 き様こやち大てと感を 、思じダれで とれ2ま阪 関ま年すにそいるイか走 おた入会き田 出ト季が 仕くに人て舎 来で節で 事さなと約育 た見のき さんりし3ち らて変ま いそわし せのまて年の

との出会いに感謝し精神誠意との出会いに感謝し精神誠意くお願い致します。

はムへ相セせへムの金をがマ 全よ等だいし多"08談ンら以・女負言見ン「額りにとなかいの年件タれ下紛性担っつシ2 「いしよ購度数 | た 住。、う入)はへ相 `争。をたかョ0 はへ相支処 - 求がつン0 。年の談援理礼め 求的律のえき 、"に住のセ支はら管 欠夢5宅一ン援云れ理 欠夢5宅ーン援「れ理売09に陥の0の例タセ生た組り年新 売品確のり 合主に築 とり確保相は むホ件合支に一才50の苦漏れ が主法の談も 人一弱の援寄」一代資情りた ) 促事っ

法た益いで表し 注 のを場は面て問 すいか損か瑕水要度な るうら害ら疵のなにら00 こ期だ賠10 (浸部関 `化し題り 、業しまは**業**と間、償年か入分係柱4 消者たっ売者はを図の間しを」す、月 者担年防と費に耐たり倒で契A義は | 防やる基以 に保秋ごが者十震場手産き約の務売欠止 保履にう明が分強合のになに①をり陥す屋構なの 険行施とら大な度だ業もいよ 加法行作かき資偽。者**対**。つ 課主はる根造ど契 。じに  $^{\circ}$ 部な耐建約 て10て修引分ど力物の さらにな力装05が応 短年い理渡 まだれれな不が問年倒り 「上の新

300 400 500 600 700

(注) Bは住宅リフォーム・ 紛争処理支援センターへ

の相談件数、Bは08年度

B. 住宅の不具合に関する相談

100 200

雨漏り…

ひび割れ

漏水……

はがれ…

欠損……

傾斜……

作動不良

すき間… 遮音不良

カビ ……

排水不良

どうすると、最ぞ取得資 すればいい最近は住宅で いだろうか。取引の任宅取得の優遇策が日1500万円までの贈 の形態別に、保護が目白押し。だがの贈与税非課税枠 の **`**Ø の せ拡 仕組 っ大 かや どとでは、 つ宅 い家工 を欠ポ し見り

主要部分の瑕疵10

年

保

造

発行所 株式会社 土屋 0120-547-278

家のことは何でもツチャ

大学院教授 吉川 敏 京都府立医科大学

日経新聞

身の代謝が低下し、それに伴っ身の代謝が落ちるためだ。 年とともに筋肉量が減り基礎をといる。 大夕ボリック症候群をはじめ、大夕ボリック症候群を発病する。 大月間が消費するエネルギーのうち最も多いものが基礎代謝が落ちるためだ。 人間が消費するエネルギーのうち最も多いものが基礎代謝は生命を維持するエネルギーがよる。 とは筋肉量を増やす必要な最低のエネルギーが表では筋肉量を増やする量だ。うたられる。基礎代謝を高めるにはあれる。



- 筋トレで基礎代謝アップ





